

議題（１） 開館後の状況について

1. 入館者数（開館日数）

月	開館日数	入館者数	1日平均	備考
3月	8日間	9,823人	1,227人	開会式、桜まつり
4月	26日間	13,421人	516人	桜まつり
5月	27日間	9,227人	341人	水野勝成展終了（～5/19）
6月	26日間	3,827人	147人	
7月	26日間	3,667人	141人	はこぶものたち展開始（7/23～）
8月	27日間	4,499人	167人	夜間開館（8/2）
9月	25日間	3,140人	126人	はこぶものたち展終了（～9/1） 中条遺跡展開始（9/7～）
合計	165日間	47,604人	289人	

4月 2日（開館9日目） 1万人達成
4月18日（開館23日目） 2万人達成
5月19日（開館51日目） 3万人達成
8月 1日（開館114日目） 4万人達成
10月6日（開館171日目） 5万人達成

2. 企画展開催事業

年に4回企画展を開催し、刈谷やその周辺の地域の歴史に関して学ぶ機会や、遠方の歴史資料を借用公開することでさまざまな歴史資料に触れる機会を市民に提供。

(1) はこぶものたち—運搬事始メ—

ア 会期 令和元年7月23日（火）～9月1日（日） 36日間

※8月2日（金）夜間開館（～午後8時30分）

イ 観覧料 無料

ウ 入場者数 4,503人（1日平均 約125人）

エ 印刷物

B2ポスター 500枚

A4チラシ 20,000枚

解説パンフレット（A4） 3,000枚

オ 開催イベント

	名称	日時	内容
展示解説	「はこぶものたち」 ギャラリートーク1	7月27日(土) 午後1時30分～	講師：永井(当館学芸員) 聴講13名
	「はこぶものたち」 ギャラリートーク2	8月25日(日) 午後1時30分～	講師：山下(当館学芸員) 聴講15名
イベント	クイズイベント 「レキハクイズ」	会期中の土日祝 (計13日間)	参加509名
	大人の金夜講座 「超初級くずし字を 読む講座」	8月2日(金) 午後7時00分～	講師：永井・山下(当館学芸員) 聴講計16名
	ミニSLに乗ろう！	8月10日(土) ・11日(日)	参加2日間計581名 協力：刈谷 D51777 愛好会
	のりもののおもちゃ で遊ぼう！	8月10日(土) ・11日(日)	プラレールおよびプレイスペース設置 協力：JR 岡崎駅
	ふろしき講習会	8月31日(土) 午前10時～／ 午後 2時～	講師：久保村正高氏 (日本風呂敷協会事務局長) 参加2回計31名

3. 市史資料整理活用事業

文化財・博物館活動のもととなる文書史料や歴史資料の調査・収集・整理・保存を実施。具体的には、市内外に存在する資料の調査や、寄贈資料・収集未整理資料の目録作成、収蔵品検品(収蔵品の保存状況把握)等。

例) 太田宗一郎氏の蔵調査

酒井庸行氏の蔵書調査

4. 来館者アンケートの実施

(1) 来館者に向けてアンケートを実施。

期間(令和元年6月1日～令和元年9月30日)

詳細別紙1参照。

ア 年齢層

50代～70代で6割を占める。4～6月と比べて、高齢者の割合が増えている。

イ 居住地

「市内」が約半分、「愛知県内」が約40%で、来館者の約9割が「愛知県内」である。県外では、三重県や関東地方(東京都、神奈川県、千葉県)、大阪府が多かった。

ウ 同行者

「一人」と「家族」が約40%であった。

エ 来観回数

「初めて」が約半数であるが、「2～4回」も40%近くおり、リピーターが増えてきている。

オ 来館目的

「企画展示」が約30%、「常設展示」が約20%を占め、「講演会・講座」が約10%いた。

カ 情報取得元

「市民だより」や「ポスター・チラシ」が約30%を占めた。4～6月と比べて、「知人から」の数が増えており、一定のロコミ効果があったものと考えられる。

キ 興味をひかれたコーナー

「企画展示室」が約40%、「歴史ひろば」が約30%、「お祭りひろば」が約20%を占め、ある程度企画展を評価していただいている。

ク 展示内容・方法の評価

「とてもよい」と「よい」を合わせて約80%あった。

(2) 交通手段アンケート

刈谷市内と刈谷市外に分け、それぞれどのような手段で来館したかについて、アンケートを行った。

	刈谷市内 (293人)	刈谷市外 (217人)
車	225人 (77%)	193人 (89%)
徒歩	33人 (11%)	13人 (6%)
自転車	25人 (9%)	1人 (1%)
バス	7人 (2%)	3人 (1%)
その他	3人 (1%)	7人 (3%)

市内・市外ともに車での来館者が圧倒的に多い。その他の中に電車が含まれていると考えられるが、バスや電車等の公共交通機関の利用者は市内・市外ともに5%にも満たない。

5. 関連グッズ売上

当館開催の展覧会図録や刈谷市史、DVD刈谷偉人伝、発掘成果報告書、歴史関連カプセルトイ等を販売し、調査・研究成果を広く普及・啓発。

売上等詳細は別紙2参照。

6. 啓発関連

(1) 歴史博物館ホームページ

展示やイベント、利用案内、交通アクセス等の情報を掲載。

閲覧者数：37,003人（9月末現在）

(2) 市民だより

企画展や関連するイベント、歴史体験講座の案内等を随時掲載。

連載ものとして、歴史散歩（収蔵品を紹介、毎月1日号）。

(3) れきはくかわら版

主にイベントの周知のために発行。イベントの内容や定員、応募締切等掲載。

企画展に合わせて発行。3か月に1回程度。

(4) 博物館ニュース

企画展の案内や企画展に関する小論等を掲載。

10月末に創刊号発刊。年3回発行予定。

7. 参加・体験型歴史文化教育普及事業

郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育むため、市民が歴史文化について学ぶ機会を創出。

(1) 歴史文化体験講座の開催

毎月第4日曜日に開催。

7月 紙漉き体験 27人（午前の部 15人 / 午後の部 12人）

8月 風鈴づくり 47人

9月 ミニ埴輪づくり 7人

(2) 簡単工作づくりの開催（土日祝）

うちわづくり（1回100円）

ペーパークラフト（無料）

(3) ミュージアムシアターの上映

毎日、講座室にて、刈谷に関係のある人物や事柄についての映像を放映。

例）小堤西池のカキツバタ、中条遺跡発掘の様子

(4) 出前講座

教育委員会生涯学習課を通して依頼。学芸員が刈谷の歴史のテーマに沿って、依頼元で講座を行う。

実績 1件（刈谷ふるさとガイドボランティアの会）

8. その他

(1) 教員研修受入

教員の10年目研修として、教員3名受入（7月、8月に各2日間）。

(2) インターンシップ受入

愛知教育大学3年生2名受入（10月に5日間）。

(3) 団体見学・視察受入

行政、議会	岡崎市議会、奈良県安堵町長、幸田町長、安城市議会、長野県根羽村長、刈谷市議会、オリンピック組織委員会
自治会、付属機関	半田市向山公民館、福井県大野市民生委員、婦人会連絡協議会、岐阜県海津市歴史民俗協議会
教育	碧南市立新川小学校、刈谷市教員初任者研修、碧南市社会科教員研修、豊田市教員研修、博学連携情報交換会、安城あおぞら教室、刈谷北高校オーストラリアカレッジ
企業	株式会社豊田自動織機 OB 会織豊会
その他	中国蘭州少年野球（石田記念財団関係）

(4) 刈谷城盛上げ隊の出演

月1回、歴史博物館入口で演舞を行い、その後館内でグリーティングを行った。

(5) 刈谷高校2年生との連携

歴史博物館や刈谷の歴史の魅力発信のため、漫画等作成。Instagram開設。

(6) 市内中学校1年生歴史博物館見学の感想（5～6月実施済み）

別紙3のとおり。

(7) 常設展展示替え

6月、9月に行った。

ホームページ等で周知。